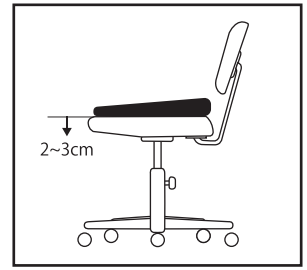
■　使用方法

●椅子に使用する場合は、座面の高さを２ｃｍ~3ｃｍ
　下げてください。（右図）又、座面を床と並行にしてください。
●敷き方は、基本として薄い方を前にファスナー側を後ろにします。

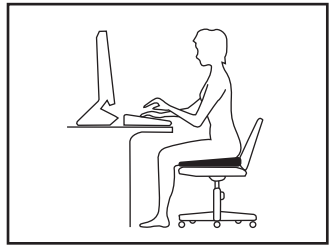


■　こんな方にお役に立てます

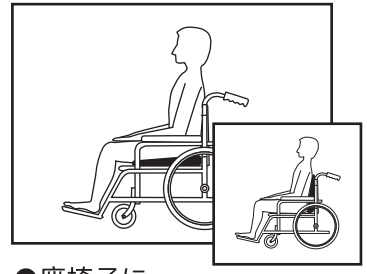
●長時間お座りになる方　●姿勢の悪い方
●腰痛、背痛の方　●肩こりの方、冷え症の方
●猫背ぎみの方　●車椅子をお使いになる方

■　使用例

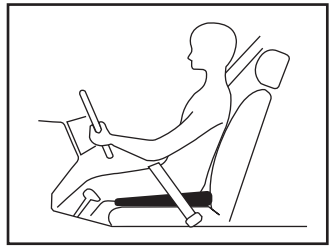
●オフィスで



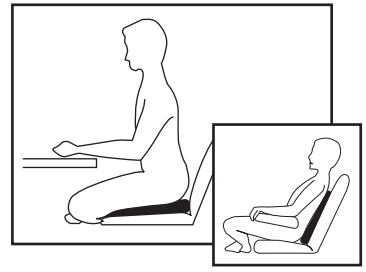
●車椅子に



●運転に



●座椅子に



注　意

●ご使用中、腰や背中などに痛み等が出ましたら使用を中止してください。
●四季の温度差により硬さに違いが出ます。特に低温下では固くなりますが
　体温、体圧を感知して形状変化し快適な使用感を保ちます。
●カバーのみ洗濯可。

芯材：発泡ポリエチレン
クッション材：低反発ウレタン、高反発ウレタン、ナイロン、ポリエステル
外カバー：ポリエステル100%　内カバー：綿100%
サイズ：縦39×幅41×厚さ前部/約4.0~後部約5.7（cm）
重量：約600g
日本製

※上記は性能向上のために予告なしに変更することがあります。

株式会社 ドクターエル
〒326-0807　足利市大正町870-1
0120-460-361
ホームページも御覧ください　www.dr-l.co.jp

長時間の座りを科学したスーパークッション

ドクターエルEX

取扱説明書

いくつかの条件下で腰にかかる負担を算出した比較比率指数の医学データでは、直立しているときの負担指数を「1」とすると、寝ている状態では「0.2」に下がり、椅子や床に座りますと、正しい姿勢であっても「1.4」、直立している時の1.4倍の負担がかかります。特に悪い姿勢では「1.9」となり直立しているときの約2倍、寝ているときの約10倍の負担がかかることになります。

人は1日の内1/3は「座って」過ごします

「座り」を大切に

『座り』には大きく分け2通りの目的があります

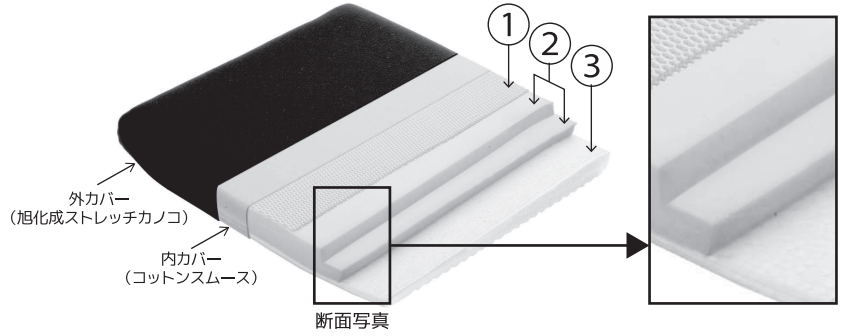
① デスクワークの場合、背もたれを使わず足の方に重心を傾け腰（骨盤）を正しくたてて座ります。⇒この場合座面は前傾

② リラクセーションの場合、背もたれをお好みの位置に倒し後ろにもたれ座ります。⇒この場合座面は後傾

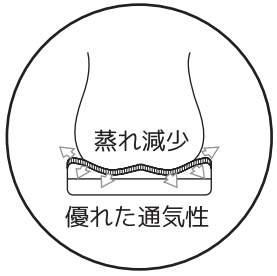
商品を十分に理解していただくためにも、この取扱説明書を必ずお読みください

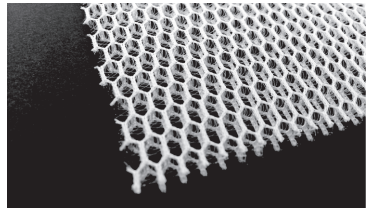
姿勢をシャキッとさせ、体圧分散、通気性を兼ね備えた
3機能融合のクッションです

「座り」の3大要素を持っています
Three in One



① 通気性



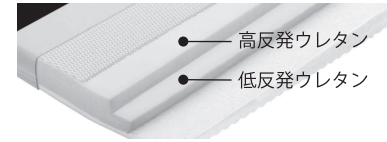


旭化成の開発した厚さ４mmのハニカムメッシュ（フュージョン）は優れた通気性を持ち湿気を逃します。

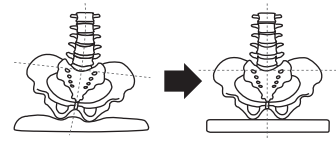
◆ＥＸとドクターエルクッションの違い◆

ＥＸはドクターエルクッションの進化形で、長時間の座りに対応できるように開発いたしました。色々なシーンにお使いならドクターエル、長時間のデスクワーク「座り」が主でしたらＥＸとお考えください。また、機能的には、前傾者はドクターエルクッションとほぼ同じですが通気性（立体メッシュ）、クッション性（ウレタン）などに優れております。

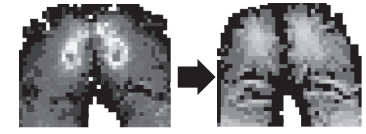
② 体圧分散性＆安定性



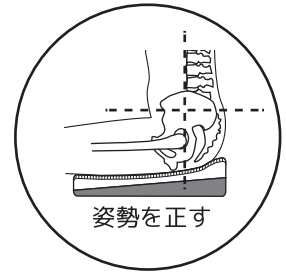
沈み込みの全く違う低反発ウレタンと高反発ウレタンが体圧を分散し、また腰の微妙な動きに対応し骨板を安定させます。



耐圧の分散



③ 骨盤の負担軽減



芯材の３度前傾斜と絶妙な硬さが、骨盤へかかる負担を足へ移動させ軽減を図ります。また座った時、背骨が作り出すＳ字カーブは立っている時に比べ直線的になります。

芯材：発泡ポリエチレン